

看護過程論	2年・前期	1単位 15時間	准教授 丸澤遊
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110542

1. 授業のねらい・概要

学生が、健康障害のある患者の生活行動におけるニーズを理解し看護を実践するために、看護過程を展開する技術を身につける。

2. 学修の到達目標

1. 看護過程の構成要素を述べるができる。(D-2)
2. 看護過程と看護理論との関係について述べるができる。(D-2)
3. ゴードンの機能的健康パターンについて述べるができる。(D-2)
4. 事例を通して、健康障害のある患者のアセスメントができる。(D-2)
5. アセスメントに基づいて関連図を作成できる。(D-2)
6. カルペニートの看護診断について述べるができる。(D-2)
7. 事例患者のニーズに沿った看護計画を立案できる。(D-2)
8. 看護記録の基本的な記載方法について述べるができる。(D-2)

3. 授業の進め方

テキストに基づく資料を用いた講義と、個人ワークによる演習を中心に授業を進める。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業を用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付等。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	看護過程の理解 看護過程と看護理論 事例紹介	講義	予習：テキスト「基礎看護技術Ⅰ」の第5章A・Bを読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤遊
2	情報収集の方法 アセスメントの枠組み「ゴードンの機能的健康パターン」	講義 演習	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第3章、第4章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤
3	情報の解釈と分析	講義 演習	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第5章、第6章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤
4	問題の統合 関連図	講義 演習	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第7章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤

5	看護診断（PES 式） 優先順位と根拠	講義 演習	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第 8 章，第 9 章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤
6	看護計画の目標 看護計画（OP，TP，EP）	講義 演習	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第 10 章，第 11 章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤
7	看護記録（経過表，SOAP）	講義 演習	予習：テキスト「基礎看護技術 I」の第 5 章 D を読む。テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第 12 章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。	丸澤
8	看護計画の評価・修正 定期試験	講義 試験	予習：テキスト「ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断」の第 13 章を読む。 復習：テキストや授業資料を読み返し復習する。事例の解答例をよく読み，一連の看護過程の展開についてよく復習する。	丸澤

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は 3 分の 2 以上の出席した者）30%，提出課題 60%，授業参加態度 10%により総合的に評価する。

評価対象物は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に，5 段階評価で採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，第 1 回講義内で別途説明する。

定期試験の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭で提示する。

演習の課題の詳細（内容，提出期限，提出場所等）は，講義内で資料を提示する。

6. テキスト・参考文献

教科書：1）江川隆子編（2019）ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断（最新版），ヌーヴェルヒロカワ。

2）茂野香おる他（2025）系統看護学講座 基礎看護学 2 基礎看護技術 I（最新版），医学書院。

3）リンダ J・カルペニート（2023）看護診断ハンドブック（最新版），医学書院。

4）江口正信，水口國雄（2017）検査値早わかりガイド（最新版），サイオ出版。

参考書：随時紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業計画の 1 回の授業範囲および事前事後学修（学修課題）について，最低 1 時間以上の予習および復習を行うこと。さらに，指定された課題に取り組み，期限内に提出すること。

8. 受講上の留意事項

2 年後期の「受け持ち看護実習」の先修科目である。

主体的な授業参加が重要である。授業中の私語や授業に関連しない行動は，授業参加態度として評価対象とする。

提出期限までに課題提出がない場合は，評価対象外となるため注意する。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は評価・コメントを付して返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の答案は返却しない。模範解答もしくは解説を説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。